

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) J-POWERジェネレーションサービス株式会社 高砂火力運営事業所

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

高砂火力運営事業所は、電力の安定供給に努めるため、発電設備の保安と作業安全を確保するとともに、環境との調和を目指した事業活動を継続しています。今後も関係法令及び自治体等との協定事項を順守して、地域社会・関係各所とのコミュニケーションを推進し、企業の社会的責任を果たしていきます。

そのため、安全衛生・環境・品質・自主保安の管理活動に関する所長方針を定め、全従業員に周知し、実践します。また、より良い事業活動の実現のため、事業活動実施結果を適切に評価し、運営管理システムの継続的な改善に努めます。

(環境方針)

事業活動に伴う環境への影響を従業員一人ひとりが認識し、環境影響を低減するため、設備の効率的な運転の維持および省資源、省エネルギー対策に取り組むとともに、廃棄物の適正管理、資源のリサイクル化に努めます。

【目標・計画等】

環境保全活動	目 標	目標達成のための計画、方策
事務所の使用 電力量 省エ ネの推進	事務所の節電に努める。	・昼休みにおけるＯＡ機器の停止、照明の消灯等による節電 ・夏期のサーキュレータ導入による空調機使用電力量の低減 ・ＬＥＤ照明の導入 ・クールビズ、ウォームビズ推進
通勤車両の燃 料使用量 省 エネの推進	通勤車両の燃料使用量の低減を図る。	・残業量を削減することによる通勤バス運行台数の調整・削減 ・通勤バス運行の見直しによる私有車通勤車両の削減 ・アイドリングストップ等活動の推進
３Ｒ（廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用）の推進	発電所から発生する産業廃棄物を適正に処理するとともに有効利用の促進に努める。	・関係法規制や会社で定めたガイドライン等に従い適正な処理、管理を行う。一般廃棄物に関して、分別収集を徹底する。 ・月１回の廃棄物パトロールの実施

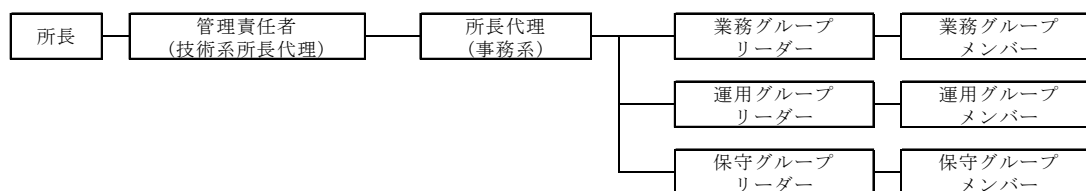
と廃棄物適正 処理の徹底		・電子マニフェスト化の推進
	発電所で使用するコピー用紙は、グリーン調達率100%とし、裏紙の利用などにより過去4ヵ年平均購入実績量以下となるように努める。	グリーン調達状況を監視、調達率100%を維持するとともに、裏紙、両面印刷、PowerPoint資料の複数ページの1ページ印刷などの周知徹底により、可能な限り使用枚数を削減する。
環境マネジメントシステム	システムの継続的な改善を行ない、環境負荷の低減に努める。	目標の設定、関係法令の特定と遵守評価、進捗度の評価を行うとともに、内部監査やマネジメントレビューを実施し、システムの継続的な改善を行う。
環境教育	環境保全に関する従業員教育の徹底	環境管理に関する教育、研修、訓練
地域の環境保全活動への参加	環境諸行事への積極的な参加、地域社会の一員として積極的なコミュニケーションに努める。	・地域との交流、見学者の受入れ ・行政主催行事への参加 ・発電所関係周辺の清掃活動
環境コミュニケーションの実施	環境保全活動に関する広報活動の実施	・来客者に対するパンフレット等による広報活動 ・高砂市環境学習プログラム「エコ教室サポートガイド」事業への参画

別紙2

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

J-POWERジェネレーションサービス株式会社 高砂火力運営事業所

所長	最高責任者
技術系所長代理	管理責任者（運営管理システム） 環境業務に関係する統括管理、所長を補佐
事務系所長代理	事務的業務全般の執行統括 所長を補佐
業務グループ	環境関係総括業務、危機管理に関する業務他
運用グループ	○運転部門 発電設備運転、運用管理（環境管理に関する業務を含む）、 燃料・灰処理、港湾管理業務
保守グループ	○保守部門 発電所保守、技術総括管理、環境対策設備の維持、管理



2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
事務所の使用電力量 省エネの推進	・空調温度を適切に設定（夏期28℃、冬期20℃）するとともに、クールビズやウォームビズの活用やサーキュレータを導入し、空調消費電力の低減に努めた。 ・昼休みの照明消灯を徹底するとともに、LED照明を積極的に導入した。	空調温度設定、昼休みの照明消灯の継続等省エネに努める。
社有車の燃料使用量 省エネの推進	社有バスの運行を見直し減便した。また、所員へメール等によるアイドリングストップの呼びかけ等を行い、省エネ推進に努めた。	社有バス減便運行の継続、アイドリングストップ等を推進する。
廃棄物対策	廃棄物の適正処理、管理に努めた。オフィス紙ゴミについては、コピー用紙の両面印刷や裏紙利用による発生量削減に努めた。ダンボール、古新聞・雑誌についてはリサイクルに努めた。	引続き廃棄物の適正処理、管理を徹底する。
グリーン調達の推進	社内調達ガイドラインを定め、取り組みを行なった結果、100%グリーン調達であった。	引続きグリーン調達率の維持に努める。
環境マネジメントシステム	マネジメントシステムを構築、システムの継続的な改善を行ない、環境負荷の低減に努めた。	マネジメントシステムの継続的な改善を行ない、環境負荷の低減に努める。
環境教育	年度計画を策定し、環境教育、訓練を適宜実施した。6月の環境月間には、各種団体より提供を受けたポスター等の資材を活用し、従業員の教育に努めた。	引続き環境保全に関する従業員の教育を徹底する。
地域の環境保全活動への参加	発電所見学者受入れ、発電所開放イベント、環境月間行事（清掃活動、花いっぱい運動）を実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響から、中止した。	引続き地域の環境保全活動への参加に努める。
環境コミュニケーションの実施	発電所ホームページ等による環境活動に関する広報活動を実施した。（ホームページは2020年度末で終了とした）	引続き環境活動に関する広報活動を行う。